

[004] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/24513>

出版情報：九州大学東洋史論集. 4, 1975-10-31. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

九州大学

東洋史論集

4

論説

- 唐都長安城の坊制と治安機構（下）…………… 室永 芳三（1）
- 漢時代の田租…………… 紙屋 正和（20）
- 万曆政治における員缺の位置…………… 和田 正広（38）
- 家と家人…………… 越智 重明（58）

1975年10月

九州大学文学部東洋史研究会

お詫び

編集の手違いで、本号掲載の室永芳三氏の「唐都長安城の坊制と治安機構(下)」の目次を記載できませんでしたので、ここに記すこととします。

序言

一、坊制と坊正

I 構造と法禁

II 坊正と里正

III 坊正と坊卒(以上、本誌2号)

二、坊制の動揺と治安機構

I 巡使、街使の機構

II 神策軍巡使の機構

余言 (以上、本号掲載)

九州大学『東洋史論集』1〜3号 目次

1 号

北宋時代の東南官売法下末塩鈔の意義について

幸 徹

北魏における徙民と計口受田について

古賀昭岑

里から村へ

越智重明

呉・南唐の制置使を論じて宋代の軍使兼、知軍事に

畑地正憲

2 号

唐都長安城の坊制と治安機構(上)

室永芳三

魏時代の九品官人法について

越智重明

明末の吏治体制における挙劾の官評に関する一考察

和田正広

明末、江南における丈量策の展開と地主佃戸関係の

川勝 守

3 号

税租をめぐる

越智重明

前漢諸侯王国の官制

紙屋正和

魏前期の人才主義

神矢法子

北朝の行台について その1

古賀昭岑